

毎週日曜発行
2023 10/1

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

42

みんなはどんな食器を使ってる？身の回りには焼き物の技法で作られたいろんな器があるよね。そんな器を自分の手で作り出す陶芸家に子ども時代の話聞いたよ。

川崎市に住んでいた小さい頃は「歌いながら下を向いて歩くうるさい子」。童謡のメロディーだけど歌詞はめっちゃくちゃ。足元の草を見て歩くのです。3姉妹の長女ですが妹たちと違い、母と一緒に歩くのが少し恥ず

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

草花描かれた白磁に魅力

かしかったそうです。幼稚園では他の子のパワートについていけず、インドア派でお絵描きに夢

中に。植物や飼っていた文鳥を描きました。友達に「おやつ出るよ」と誘われ、絵画教室に通

素焼きに線を描くのが好きなんです。日本画用の細い筆でスツと描くと、水を吸い込む感じで線が現れます。本焼きでうまく出ないこともあるけれど、ぴしっとできたときはうれしい。「夜咲きスイレン」という花をいつか描いてみたいです。



きしがみ・まみこ 東京都出身。宮城教育大大学院修士(しゅうりょう)。陶芸家浅野治志(はるゆき)さんに師事(しじ)。1997年に宮城県富谷町(現富谷市)に窯を開く。河北工芸展(てん)、宮城県芸術(げいじゅつ)祭で受賞多数。富谷市在住(ざいじゅう)。

岸上まみ子さん(55歳・陶芸家)

始めたのは小学3、4年ごろ。先生は何を描いても良いところを見つけられました。学校でいじめられがちだったので励みになりました。ものづくりの楽しさや自分の世界を持つことを教えてもらったと思います。



小中学校を通じ植物図鑑が好きで、手描きの図の本を愛読しました。父の転勤で中学2年の夏に川崎市から仙台市へ。仙台の学校は生徒が穏やかで給食がおいしくて驚きました。転校先で美術部に入り、仲間と絵を描いて過ごしました。高校では油彩絵の具の匂いが苦手な美術部に入らず、でも絵を描くのは好きだったので、宮城教育大の美術専攻に進みました。



友人の誘いで陶芸部に入り、卒業制作も陶芸を選択したのが今につながります。有田焼などの技法の色絵磁器の先生に学び、白い磁器に描かれた草花に「こんなに鮮やかなんだ」と魅力を感じました。その後自分で窯を開き、素焼きに鉄で下絵付けする白磁の器にたどり着きました。

作品には野イチゴやスミレ、ツリバナなど身近な植物や小鳥などを描きます。時間があれば庭の草花のスケッチし、どう描くか考えます。器を手にした人が、楽しく使ってくれたらいいと思って作っています。

陶芸を続けたことで、いろんな人に会えました。まだまだやってみたいことがあります。皆さんには好きなことを少しずつでも続けてほしいです。

今週の注目ニュース

◇2日(月) 豆腐の日

「10(とう)」「2(ふ)」と語呂を合わせ、日本豆腐協会が1993年に制定。豆腐を数える時は「丁」を使いますが、重さは地域によって1丁約300g~400gとさまざま。沖縄県では1丁1kgが一般的です。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー